

カンボジアに渡航を決めて経験できたこと

小比賀一訓

今回、渡航を決めたきっかけはボランティアに参加して活動を重ねていくうちに

「このボランティアの成果、結果はどうなっているんだろう」という気持ちが芽生え、「この目でカンボジアを見てみたい」と思ったのがきっかけです。

渡航が決まったらまず、事前研修に参加しました。

セカンドハンドについて、カンボジアについて、国際協力について学びました。

国際協力については貿易ゲームと言うのをしましたが、これは国際間の格差の状況、それを是正する難しさ、支援の大切さをわかりやすく学ぶことができて良かったです。

事前研修を無事に終えたら、いよいよ渡航本番です。

シェムリアップ空港に着き、ビザの申請、入国手続きをして

カンボジア初入国を果たしました。と、ここで問題発生です。

預けたトランクが出てこないではありませんか！こんなトラブルに見舞われて

海外旅行保険は必ず入らないと怖いなど、改めて思いました。

しかし小学校で渡す文房具のプレゼントが入っているのに、困ったと

思っていたら、その日の深夜にホテルに届きました。思いのほか早く届いて

安心したと同時に、空港でちゃんと遺失物の届出をすることの重要さも

学びました。アクシデントでしたが貴重な経験になりました。

今回の渡航で印象に残っている場所はホームランド孤児院とチョムノブコキ小学校です。

ホームランド孤児院では到着と同時に代表者のマオさんが出迎えてくれました。

教室の案内をして頂き、その後、給食を子供たちと一緒に食べました。ここでは

クメール語しか通じないので子供とのコミュニケーションが難しかったなあと

思いました。クメール後のスマホアプリを入れて行きましたが、上手く使いこなせず

交流したい気持ちが空回りしてました。しかし、カメラをむけると笑顔でポーズを

取ってくれるので、それで写真を撮られると喜んでくれると言うことに気がつき、

そこからは写真を撮ってその画像を見せてあげて、少し交流ができました。

家庭環境がツライ子供達なのに、みんなとても無邪気で笑顔が物凄くキラキラしていて、

こっちが逆に元気を貰えた記憶があります。

そして、メインイベントのチョムノブコキ小学校の贈呈式典に参加です。

小学校の近くでは道路は未舗装のオフロード走行になり移動は大変でしたが、

出迎えてくれた児童達の歓迎で、その疲れも吹き飛びました。花道を作ってくれて、

その入り口でクロマーを首に巻いてくれてエスコートキッズと共に会場へと進みます。

その間、子供達が「コンニーチーハッ！」コールを全員が入場し終わるまでしてくれて、

そのキラキラした頑張ってる感じに感動して涙が出そうになりました。

現地の来賓の話では、保護者に通学を促す場面がありました。

保護者が教育の重要性を認識できていない為、子供が勉強したくても

学校に通わずに、まず目の前の稼ぎのために畑仕事をさせたりするそうです。

そのため、学校に通わせることが将来、大きい稼ぎになるんだと

保護者に語りかけていました。その後、教室見学で子供達に

「勉強は楽しいですか？」と質問したら、ホームランド孤児院でも見たような

キラキラした笑顔で大勢の手が元気良く挙がっていました。

それを見て今後、この地でちゃんと教育が根付いて皆で揃って楽しく勉強して

無事に卒業してもらいたいな思いました。

帰国してからは、漠然とボランティアに参加しようと言う気持ちから

あの物凄くキラキラした笑顔の子供達の為に、また喜んでもらうために

何とかしてあげようと言う気持ちに変化しました。支援の対象や

その成果が明確になったことで、同じボランティアをするにも、

きっと今までよりも大きい達成感が得られると思います。

だから今回カンボジアに渡航して、自分の目で支援の現場を見erると言うことは

非常に有意義なものなんだと感じました。決断して良かったと思いました。

最後になりますが、本来なら私よりも支援経験が長かったり貢献度合いの大きい方が

行きべきとも考えましたが、今回の渡航のチャンスを私に与えてくださった事に

感謝し、これからもセカンドハンドのボランティアとして活動を

続けていこうと思います。

